

# くずまき 議会だより



3年度の決算を認定

安心して暮らせる環境充実

2p

3年度決算を見る ~決算の質疑など~

4p

物価高騰下の酪農振興は ~3議員が一般質問~

12p

笑顔のつどい 48



表紙

山車茶屋場組の皆さん  
(関連16P)

# 安心して暮らせる環境充実

夢と誇りある 生活のために



新たな町の拠点となる新庁舎の完成

## 9月定例会議

9月定例会議は、9月2日から9日までの8日間の日程で行われました。町長から提出された議案は、3年度会計の決算認定のほか4年度補正予算など11件が提出され、原案どおり『決定』しました。一般質問は3人の議員が登壇し、町の対応や考えをいただきました。

## 起債の繰上げ償還を評価 監査委員の意見

### 【概要】

3年度決算はすべての会計が黒字です。普通税の徴収率が前年度を上回り、使用料などを含めた未収金も、446万円減少しております。引き続き職員の徴収に対する取り組みの創意工夫を求めます。

全会計の地方債は前年度に比べ増額したものの

臨時財政対策債を繰上げ償還し、財政健全化対策に努めているところは高く評価するものです。

また、3年度は引き続き新型コロナウイルス感染症対策のほか経済対策事業等、全庁あげて迅速に事業展開されており、住民生活の安心安全につながったものと評価します。

## 全会計が黒字決算

3年度の全会計の総支出額は、100億9568万円、前年度比8309万円、0・8割増加しました。

一般会計の支出額は、89億610万円、前年度比3201万円、0・4割の増加です。住民税非課税世帯等臨時特別給付金や高齢者福祉施設建設事業、道の駅レストラン建設事業などが主な要因です。

三つの特別会計の支出総額は11億8957万円、前年度比5107万円、4・5割増加しました。

町の新たな拠点となる複合機能を兼ね備えた役場新庁舎が完成し賑わいの創出が期待される所です。

また、リモートワークを可能とする情報環境を備えた「サテライトオ

フィス」が整備され、デジタル社会における新たな働き方の実現が図られました。

一般会計決算の詳しい内容は、4～5ページをご覧ください。

## 3年度決算の状況

会計名	収入	支出
一般会計	92億5002万円	89億610万円
特別会計	国民健康保険事業	9億888万円
	農業集落排水事業	2億321万円
	後期高齢者医療事業	7747万円
合計	104億6224万円	100億9568万円

## 財政健全化判断比率は「健全」を維持

「財政健全化法」に基づく3年度の一般会計、特別会計、第3セクターなどの決算を含めた各指標は、いずれも基準を下回りました。

### ●健全化判断比率

各指標	4年度	3年度	比較
実質赤字比率 (15%)	赤字なし	赤字なし	-
連結実質赤字比率 (20%)	赤字なし	赤字なし	-
実質公債費比率 (25%)	8.3%	8.4%	△0.1
将来負担比率 (350%)	なし	5.5%	皆減

※各指標（ ）内の早期健全化の基準で、数値が低いほど健全な財政運営になります。

※将来負担比率は、将来負担見込額が充て可能な財源の額を下回り、比率なしとなりました。



意見書を提出する馬淵文雄代表監査委員

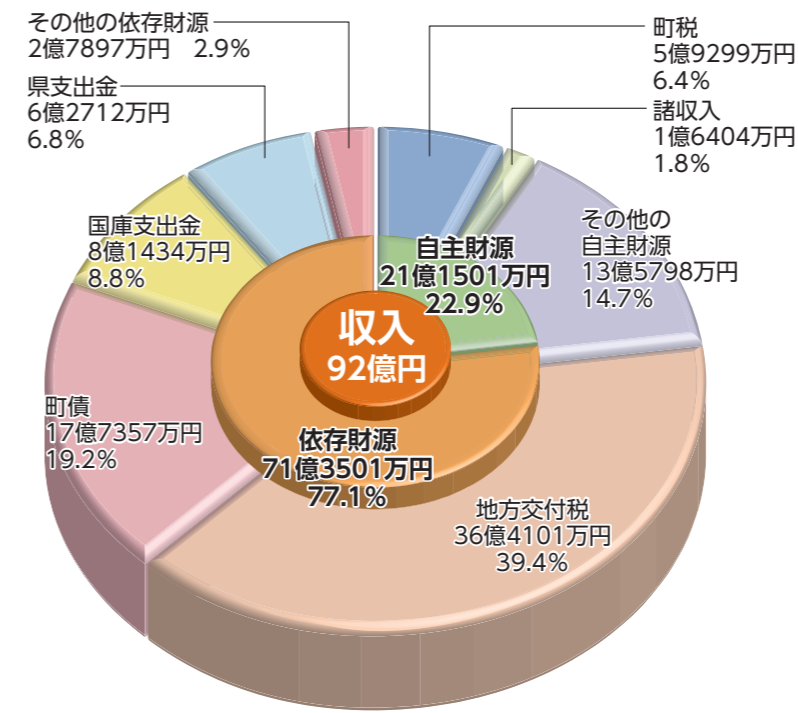
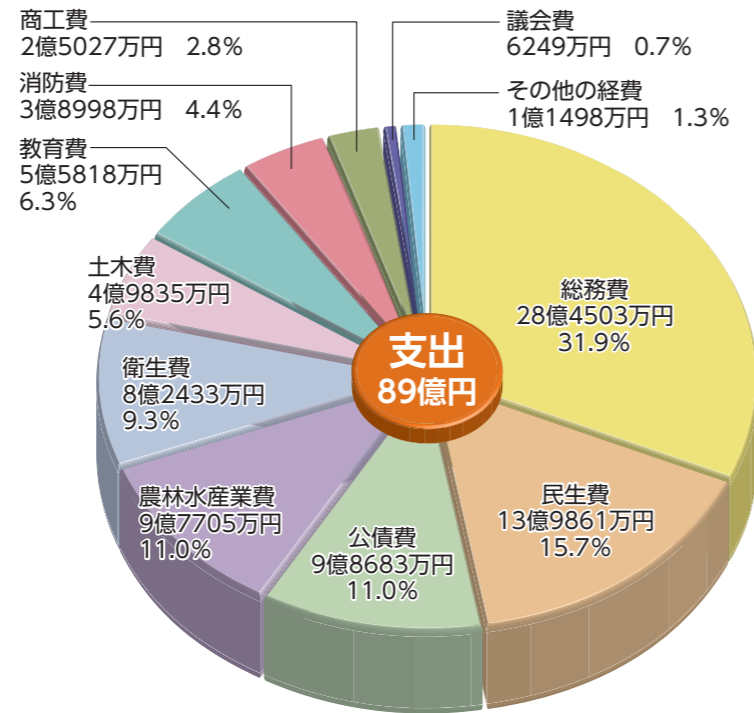
### ●資金不足比率

経営健全化基準は20%未満で、対象となる農業集落排水事業の資金不足は発生していません。

# 新庁舎建設により支出増

# 自主財源比率改善

項目	内容
総務費	町の財産管理や町税の事務などに充てる経費
民生費	高齢者や障がい者、保育所運営など社会保障に充てる経費
公債費	事業のために国などから借りたお金の元利償還金
衛生費	保健・衛生・環境などの業務に充てる経費
教育費	小・中学校の運営や社会教育・体育事業に充てる経費
土木費	道路・公園・河川などの建設や維持管理に充てる経費
農林水産業費	農林・畜産業の振興などに充てる経費
消防費	防災や災害時の活動などに充てる経費
商工費	商工業や観光の振興などに充てる経費
議会費	議会の運営に充てる経費
その他の経費	災害復旧費、労働費、諸支出金、予備費などの経費



項目	内容	
自主財源 〔町で自力で取 入ることができるお金〕	町税	町民税や固定資産税など、町民の皆さんからの税金
	諸収入	町税の延滞金や預金利子など
	その他の自主財源	保育料や、他の収入科目に含まれないお金
依存財源 〔国・県などから、交付、割当てられるお金〕	地方交付税	町の財政需要の状況により国から配分されるお金
	町債	事業を行うために国や金融機関などから借りるお金
	国庫支出金	事業を行うために国からもらうお金
	県支出金	事業を行うために県からもらうお金
	その他の依存財源	地方消費税交付金、地方譲与税、自動車取得税交付金など

## 住民一人当たりになると (家計簿にたとえると…)

**子どもへの仕送り**  
84,000円  
繰出金 5.4%

**食費**  
167,000円  
人件費 10.7%

**医療費など**  
122,000円  
扶助費 7.8%

**住宅ローンなど**  
172,000円  
公債費 11.0%

**年金掛金、保険料など**  
456,000円  
負担金など 29.2%

**医療費が3万円増えたわ**

**家の増改築など**  
395,000円  
建設事業費 25.3%

**光熱水費など**  
166,000円  
物件費 10.6%

**1,562,000円**  
(4年3月末の人口) 5,696人

**収入** 総額は、92億5002万円で、前年度比4億1895万円、4.3%増減しました。歳入全体の39%を占める地方交付税は36億4101万円で、前年度比1億1833万円、3.4%増加しました。町債(借入金)は、17億7357万円で、前年度比3億877万円、2.1%増減しました。町税は、5億9299万円で、前年度比1億2730万円、27.3%増加しました。

**支出** 総額は、89億6101万円で、前年度比3億201万円、0.4%増加しました。総務費は、28億4503万円で、特別定額給付金事業の完了により、前年度比6億396万円、17.5%増減しました。民生費は、13億9861万円で、住民税非課税1万円で、住民税非課税

**基金(貯金)** 残高は、63億9609万円で、前年度比6億173万円、10.4%増加しました。町債(借入金)残高は、94億5882万円で、前年度比8億642万円、9.3%増加しました。

**公債費**は、9億8683万円で、繰上げ償還により前年度比1億3096万円、15.3%増加しました。公債費は、9億8683万円で、繰上げ償還により前年度比1億3096万円、15.3%増加しました。

**商工費**は、2億5027万円で、プレミアム付商品券事業等により、前年度比8454万円、51%増加しました。

**農林水産業費**は、9億7705万円で、道の駅レストラン建設事業等により、前年度比1億4248万円、17.1%増加しました。

**世帯等臨時特別給付金事業**により、前年度比2億2418万円、19.1%増加しました。

**農林水産業費**は、9億7705万円で、道の駅レストラン建設事業等により、前年度比1億4248万円、17.1%増加しました。

輝くふるさと常任委員会（鈴木満委員長）は、9月6日に各会計の3年度の決算の審査を行い、予算が効果的、かつ適正に使われているか、事業の実施効果や状況はどうだったのか確認しました。主な質疑の内容をお知らせします。

## 新庁舎建設工事等について

**辰柳委員** 1期工事の事業費と充当財源内訳を伺う。

**政策秘書課長** 総工事費40億円、地方債の借り入れ35億円、基金の取崩し5億円。地方債35億円の半分17億円が地方交付税により予算措置されるもの。町の実質負担額は約23億円6割程度となる。

**辰柳委員** 1期工事の引き渡し時期と新庁舎開庁までのスケジュール及び内覧会の実施について伺う。

**政策秘書課長** 引き渡しは9月9日で、11月1日に開庁する予定。9月下旬を目途に人数を制限して内覧会を実施したい。

**辰柳委員** 新庁舎の愛称を募集しているが愛称はいつ、誰が決定するのか伺う。

**政策秘書課長** 町内の各種団体や町外の有識者により選考委員会を組織し、10月上旬までには決定したい。

**辰柳委員** 庁舎へ商工会、盛岡信用金庫等が入居するとのことだが、家賃はどれくらいを想定しているか伺う。

**政策秘書課長** これまでの会議室等の利用料金を踏まえ、工事費の総額や耐用年数、延べ床面積等も勘案しながら料金を設定したい。

**辰柳委員** 2期工事の内容と財源内訳、工事の発注時期を伺う。

**副町長** 工事内容は、大屋根広場、消防分署棟、車庫棟、外構の4工事。事業費は11億円、既存施設の解体経費が1億5千万円で合計12億5千万円となる予定。財源は、過疎債等有利な起債を導入したい。これらは、地方交付税の措置を受けられる財源であり、町の実質負担は、総額の6割ほど。工事の発注時期は、10月中旬までに議会に提案し、議決を経て発注したい。工期は約1年を見込んでいる。

**山崎委員** 公費負担比率が前年度に比較して3割増加している要因を伺う。

**総務課長** 前年度より、任意の繰上げ償還額を6

## 財政関係について

は通行可能となるように工事を進めている。

## マイナンバーカード交付の推進について

**遠藤委員** 町のマイナンバーカード交付率は県内第1位となっているが、今後のマイナンバーカード普及を更に推進するには。

**住民会計課長** 町民の依頼に応じて出向く出張サポートを推進する。



出張サポートでマイナンバーカードの説明を聞く町民（江刈農村センター）

千万円増加させたためであり、一時的な上昇で財政運営上問題は無い。

**柴田委員** 昭和47年度からある土地開発基金の活用について伺う。

**副町長** 平成2年にグリーンテージや総合運動公園の用地取得の際に活用した基金で、今後運用を検討したい。

**柴田委員** 財政調整基金の残高については、予算の10割2割が望ましいとされているが、今後の財

政調整基金の適正な積み立てについて伺う。

**副町長** 現在、財政調整基金の積立額は予算の2割程度となっている。この基金は、経済情勢の変動や災害時の対応などに活用していることから、今後も方針を大きく変える意向はない。

**柴田委員** 現在の基金の額では、大きな災害が発生した場合、不足するのでは。

**副町長** これまで、国が



新庁舎内の金融機関などの案内表示（1F）

## 押印省略の推進について

**遠藤委員** 書類手続きなど、押印省略できるものがあるが、推進状況を伺う。

**住民会計課長** 今後、押印省略可能な書類等を精査し、押印省略を推進する。

## 学校現場のICTの活用状況について

**遠藤委員** 学校現場におけるICTの活用状況と、推進するにあたっての諸課題などについてを伺う。

**教育長** 国が進めるギガスクール構想により、学校内の通信環境を整え、児童生徒に一人一台のタブレット端末を配布し、授業などで活用している。ICT推進のため、学校教育アドバイザーが各学校を定期的に巡回し、教師の指導や支援にあたり課題解決等に対応している。

**まなび交流課長** 年間100万円ほどの予算で600冊程度購入しており、他市町村と同程度と認識している。また、現在、新庁舎の図書室の充実に向け、図書費の増額やICTの活用なども含めて検討している。

## 文化財保護事業

**近藤委員** 文化財保護事業費が少ないと感じるが教育長の所見は。

**教育長** 町の子ども達に継承するためにも、文化事業に係る適切な事業費措置について今後検討する。

## 図書室の整備状況等

**遠藤委員** 町の図書室で取り扱う新刊本は年間何冊か、他市町村と比べて少なくないのか。また、新庁舎での図書室の整備状況を伺う。

**まなび交流課長** 年間100万円ほどの予算で600冊程度購入しており、他市町村と同程度と認識している。また、現在、新庁舎の図書室の充実に向け、図書費の増額やICTの活用なども含めて検討している。

## 健康づくり事業について

示している最高値に近い額を積み立ててきたが、災害時のデータを踏まえ、今後検討する。

**山崎委員** 健康づくり事業での二〇ちゃんポイント活用の成果を伺う。

**健康福祉課長** 前年度に比べ、各種がん検診などの受診率が増加したことから一定の効果があったものと認識している。

## 新大橋の建設工事等について

**近藤委員** 新大橋の建設工事に係る費用の総額と町の負担額について伺う。

**建設水道課長** 令和元年度から令和4年度までで、約5億1399万円、国交付金と県補助金を併せて2億7815万円。残りの2億3584万円のうち、起債額は1億8

760万円、残りの4824万円が一般財源。なお、このうち木製屋根工事に係る事業費は、8404万円、財源は国の交付金が4202万円、残りの4202万円の9割起債を充当し、一般財源は4222万円となっている。

**近藤委員** 新大橋は、いつ町民が通常利用できるようになるのか。

**建設水道課長** 10月中旬に

## DMO新商品開発事業について

**近藤委員** くずまき鍋新商品開発事業についての成果を伺う。

**いらっしやい葛巻推進課長**

第3セクターのほか、今年度、町内3店舗が新たに事業を実施。11月から3月までの4カ月間で、新店舗3店は656食、第3セクターでは1623食出ており、コロナ禍で飲食店の売り上げが落



新たに商品開発されたワインソルト

ち込んだ中においては、テレビ番組にも取り上げられるなど話題性もあり、町内外への発信と、町内の飲食店など売り上げ増加等の成果があったと認識している。

**近藤委員** くずまき鍋以外の商品開発の状況について伺う。

**いらっしやい葛巻推進課長**

DMOの活動の中で、町の食材を活用して何かできないだろうかというワークショップなど重ねてき

た。その中で、ワインソルト、畜産開発公社ではチーズクッキー、(株)岩手くずまきワインではワインを使ったポークションやミートピザなど、DMOで検討された物が商品化につながった事例もある。

**プレミアム付商品券の経済効果について**

**遠藤委員** 町独自の施策

プレミアム付き商品券工

ンジョイチケットの町内

における経済効果を伺う。

**いらっしやい葛巻推進課長**

エンジョイチケットの

販売は好評で、補正予算

を計上し、再度販売する

ほどであった。販売され

たエンジョイチケットは、

町内の商店や飲食店で多

く利用されており、経済

効果があったものと認識

している。

## 出生数の減少について

**辰柳委員** 出生数を増やすためには若い女性の人口増が必要であるが、具体的な施策について伺う。

**副町長** 町内の若い女性の人口増には、雇用の場の確保が必要。町ではDMOの活動により、起業も視野に入れた商品開発など行っている。若い人が起業できる町にしたいことから、支援などの充実を図る。

## 地方版総合戦略について

**山崎委員** 地方版総合戦略の効果と検証について、有識者会議で出された意見や指摘事項について伺う。

**政策秘書課長** 有識者会議では以下のことが見てとれた。出生数を増やすためにパート

ナー制の導入・山村留学

生卒業後の町との関わり

方を検証・町内にある企

業や仕事を更にPR・消

防団や自治会の再編成・

インターシッピングの積極

的な実施・ライフビジョンで町の魅力を発信。

**山崎委員** 令和3年度末

における総合戦略の評価

について伺う。

**副町長** 人口の社会動態

は目標数値を達成してい

るが、年間出生数や町民

一人あたりの分配所得は

目標数値を達成できな

かった。子育て支援対策

の成果はでていないが、目

標値を達成できなかった

項目があり課題が見えて

きた。今後、課題を解決

するため、次期計画や来

年度の当初予算措置に向

け十分検討する。



DMOの活動に参加する若者(サテライトオフィス)

## 反対討論(要約)



近藤 聖 議員

一つ目は、木橋建設工

事についてである。令和

3年度予算審議の際に実

施した町民への独自アン

ケート調査において、納

得していない町民があり、

事業が進む中で「本当に

大橋に屋根をかける必要

があったのだろうか」と

いう疑問が生じたが、い

まだに払拭できていない。

また、商工費の「木橋

建設工事」という予算項

目についても疑問である。

これまでの工事名は「町

道葛巻浦子内線大橋下部

工工事」あるいは「大橋

上部工工事」という名目

で執行されている。今回

の工事の予算・決算は、

商工費で執行され、工事

名も「木橋建設工事」と

なっていることから、工

事名を「大橋上屋工工事」

とすべきだったのではな

いか。また、大橋を「木

橋」と呼ぶのには抵抗が

ある。今後、大橋を見に

来られた方には「国内で

は大変希少な木屋根橋」

と紹介、説明をした方が

分かりやすいと考える。

二つ目は、文化財保護

事業費の予算が少なすぎ

るということである。文

化財保護は、単に文化財

の保管、維持だけでなく、

展示・活用・調査・研究・

評価・発信・啓発、物件

によっては発掘・修復な

ど幅広い活動が求められる。

現在の葛巻町に繋がる

あらゆる文化財を大切に

に管理し、町民や将来町

を背負って育つ子供たち

の財産となる文化財保護

行政にもっと光を当てる

べきである。

以上のことから、令和

3年度一般会計決算の認

定に反対する。

## 賛成討論(要約)



辰柳 敬一 議員

令和3年度は、新型コ

ロナウイルス感染症の流

行がとどまらず、町民の

生活、雇用や経済におい

ても、大きな影響が出た

1年であった。感染拡大

防止やワクチン接種、地

域経済の回復に向けた対

策・対応のほか、町制施

行66周年の節目を町民と

祝うなど、「山村のモデ

ル」としての取組みを町

内外に発信してきた。

新型コロナウイルス感

染症拡大を機にテレワー

クが普及している状況を

また、町産木材を活用

した大橋が完成し、今後

「林業の町くずまき」の

広告塔として大きなPR

と、新たなスポットとし

て誘客効果に期待する。

その他、「くずまき鍋」

の開発・提供では、第3

セクターに加え町内飲食

店3店舗が加わり、町の

新たな食文化と「食」を

始めとした地域の活性化

に取り組んだ。

さらには、新型コロナ

ウイルス感染症により、

大きく影響を受けた町内

商工業者の事業継続を支

援するための各種対策事

業や地域経済の回復を図

るための町独自のダブル

プレミアム商品券事業に

取り組んだ。

また、町の各種財政指

## 議員の判断〈議決結果〉

議案番号	件名と主な内容	議決結果	下屋敷幸男	遠藤裕樹	近藤聖	山崎邦廣	柴田勇雄	鈴木満	辰柳敬一	姉帯春治	高宮一明
4年度：補正予算											
議案第32号	一般会計(第3号) …6億1287万円増額し、90億9955万円に	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第33号	農業集落排水事業特別会計(第1号) …524万円増額し、2億2918万円に	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-
条例改正											
議案第34号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例 …職員の妊娠・出産・育児等に必要な措置を講ずる	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第35号	葛巻町の議会議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例…対象となる費用の単価を引き上げ	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-
人事案件											
同意第2号	教育委員会の委員の任命に関し同意を求めることについて …志田 一将さん(城内小路・新任)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	-
その他											
議案第36号	公の施設に係る指定管理者の指定に関し議決を求めることについて…指定管理者となる団体：社会福祉法人葛巻町社会福祉協議会	可決	○	○	○	○	○	○	除斥	除斥	-
議案第37号	人権擁護委員の候補者の推薦に関し意見を求めることについて …上小路隆男さん(田代・再任)	意見適任	○	○	○	○	○	○	○	○	-
3年度：決算											
認定第3号	一般会計…歳入総額92億5002万円、歳出総額89億610万円	認定	○	○	×	○	○	○	○	○	-
認定第4号	国民健康保険事業勘定特別会計…歳入総額9億2227万円、歳出総額9億888万円	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	-
認定第5号	農業集落排水事業特別会計…歳入総額2億845万円、歳出総額2億321万円	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	-
認定第6号	後期高齢者医療事業特別会計…歳入総額8147万円、歳出総額7747万円	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	-

※○は原案に賛成、×は反対。議長は裁決に加わりません。施設関係議員は採決に加わるできません。

## くずまきテレビ 録画放送の予定

月日	時間	内容
10月7日(金)	9時～	議案説明、一般質問
	17時～	議案審査、審議結果
10月8日(土)	9時～	議案審査、審議結果
	17時～	議案説明、一般質問
10月9日(日)	9時～	議案説明、一般質問
	17時～	議案審査、審議結果

9月定例会議で人事案件や条例改正、4年度補正予算などの審議が行われました。主な内容は次のとおりです。

### 補正予算

- ◇一般会計(第3号)  
6億1287万円追加し、総額を90億9955万円としました。
- ◇農業集落排水事業(第1号)  
524万円追加し、総額2億2918万円としました。

### その他

- 指定管理者の指定  
◇施設名 高齢者福祉センター  
◇指定管理者 社会福祉法人葛巻町社会福祉協議会
- 葛巻町の議会議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の改正  
国に準じ対象となる費用の単価を引き上げ。
- 教育委員の同意  
志田一将さん(城内小路)を任命することに同意。  
任期は8年9月30日まで。(新任)

### 人事案件

- ◇指定期間 4年10月から8年3月まで
- 人権擁護委員の同意  
上小路隆男さん(田代)を推薦することに同意。  
任期は7年12月31日まで。(再任)

### 補正予算の主な内容

会計名など	補正額	補正後の予算額
一般会計(第2号) 専決処分(8/5)	3800万円	84億8667万円
主な使いみち ■災害(8/2～3発生)の応急復旧費、本復旧工事に向け災害査定的设计業務など ..... 3800万円		
一般会計(第3号)	6億1287万円	90億9955万円
主な使いみち ■基金への積み立て.....2億5000万円 ■8月豪雨災害の災害復旧費.....7500万円 ■いわて子育て世帯臨時特別支援給付事業.....801万円 ■経済活性化事業.....2667万円 ■長期償還元金.....2億2193万円		

### 条例

- 職員の育児休業等に関する条例の改正  
国に準じ、職員の妊娠・出産・育児等に必要な措置



志田一将さん

### 一般質問

## 今ここが聞きたい

9月5日、3議員が一般質問を行いました。

一般質問は、町の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針などを幅広い視点から報告や説明を求め質問します。

議員の質問できる時間は、1時間以内です。

議事録の内容は、町のホームページと議会事務局で閲覧できます。

### 12ページ

#### 山崎 邦廣 議員

1. 多様な担い手による地域力維持について
2. 酪農の振興について

### 13ページ

#### 姉帯 春治 議員

1. 大雨被害状況について
2. 森林整備事業について

### 14ページ

#### 柴田 勇雄 議員

1. 決算から見た町財政運営の今昔と中期展望等について
2. 聴覚障がい者等への支援について



あねたい はるじ 姉帯 春治 議員

### 問 大雨被害の状況について

### 答 町内で土砂流出の被害多発



土砂や木が流出した町道毛頭沢線

**一部地域に避難指示**

**議員** 8月3日の大雨では、町内にどんな被害があったのか伺う。心配される民家の被害は、あったのか。

**町長** はじめに、大雨の概要は、2日間の合計雨量が141ミリとなっていて町内各所で被害が発生した。町では、3日早朝の大雨警報の発令と同時に災害警戒本部を立ち上げ、その後馬淵川の水位が上昇したことから災害対策本部に移行し、

田子地区より下流の馬淵川流域及び星野地区の住民に対して警戒レベル4「避難指示」を発令し安全確保に努めた。短時間で急激な降雨により小規模河川において流量が増加し土石流や土砂崩れが多発発生した。民家への被害状況は、床下浸水5件、土砂流入が2件、畜舎・小屋・地下作業所などでは、床下浸水7件土砂流入が2件となっている。

県道・町道の被害状況は土砂流出が国道281号・

国道340号でそれぞれ2カ所発生。県道一戸葛巻線では5カ所発生した。町が管理する町道・農道・林道においては、56路線が被害を受けた。現在、国道・県道・町道等において通行規制はなく生活に影響はない。

農地の被害状況は、被害農家戸数は6戸、被害面積で2・2畝となっている。

山林の被害状況は、多くの林道や作業道が被害を受けており、現地確認が困難な状況である。現時点で確認した被害は、植栽した山林への土砂の流入・流出が2カ所となっている。町では、引き続き林道・作業道の復旧状況を見ながら順次、被害状況の確認に努める。

#### 町独自で除間伐事業を実施しているのか

**議員** 町全体の山林で除間伐事業が行われるいまま残っている山林はどのくらいあるのか。

**町長** 森林整備事業は国から県に予算が配分され、振興局で市町村に再配分する仕組みである。盛岡広域振興局では、再造林に係る植え付け、下刈りに予算を配分している。一方、3歳級以上で実施すべき除伐・保育間伐には予算が配分されない状況で令和3年度末時点で約64畝の山林が未整備となっている。

こうしたことから、町では、森林環境譲与税を活用して、新たに除伐・保育間伐を町単独補助事業で実施する。補助率は77割で、今年度は除伐40畝、保育間伐を10畝計画。町では、引き続き、森林の持つ豊かな資源と公益的な機能が十分に発揮されるよう、適正な森林管理に努めていく。



やまざき くにひろ 山崎 邦廣 議員

### 問 物価高騰下の酪農振興は

### 答 短・長期の対策で経営安定を図る



冬に備えるデントコーンの“ほ場”

**酪農の振興**

**議員** 資材価格が上昇している現状の対応を伺う。

**町長** 町の基幹産業である酪農は、明治25年の乳牛導入以来、先人のためまぬ努力により、本年で130年の節目を迎えた。現在、平成26年度に策定した「100年先まで持続する酪農郷」を目指し、新くすまき型酪農構想により、酪農で農山村のモデルを確立する取組を進めている。

しかしながら、原油価格の高騰、急速な円安、ウクライナ情勢による飼料穀物価格の上昇などにより、酪農経営を取り巻く環境はより一層厳しさを増している。

町では、耕作放棄地の解消や農地の有効活用、家畜排泄物の適切な利用による循環型畜産などの推進により、自給粗飼料の生産性向上に取組んできており、改めて取組みの重要性を感じている。現在、価格上昇に対する

短期的対策として「生産資材に係る助成」、長期的な対策として「自給飼料の生産性をさらに向上するための草地更新事業」をそれぞれ検討している。

今後、このような社会情勢に影響されない安定的な生産環境を整えていくとともに、生産物の高付加価値化、ブランド化をより一層進めることで、経営の安定化を図り、地域経済を牽引する町の基幹産業として、さらなる成長を図っていきたい。

#### 地域力の維持

**議員** 地域おこし協力隊の今後の推進を伺う。

**町長** 町では、これまで13名の隊員が着任し、5名の隊員が現在、活動している。また、任期を終えた隊員2名が町とのかわりを継続しており、うち1名が町内で起業し、定住している。

課題は、任期終了後の

定着・定住であり、起業や就労に向けたサポート、受入れ体制の強化を図る必要を認識している。

国では、今後も本制度を推進していくところであり、町でも積極的に有効活用し、地域資源を生かした「ものづくり」やデジタルを活用した「地域課題解決」など広く外部人材を確保できる取組みを推進していく。

**議員** 地域の担い手確保の考え方を伺う。

**町長** 町総合計画に基づき「協創のまちづくり」の考えにより、住民の皆さんと連携し、複雑多様化する行政ニーズに取組んでいる。

一方で、コミュニティ活動において、人口減少や高齢化率上昇により、担い手が不足する状況を認識している。

行政として可能な限りの支援を講じるとともに、新たな地域とのかかわり方を取入れ、これまでに無い形での担い手確保も検討していく。



柴田 勇雄 議員

### 問 町財政運営の現況と見通しは

### 答 行財政改革以後安定的に運営

14年前と今決算の財政運営の比較について

**議員** 鈴木町長就任時と現在の一般会計決算を比較した財政運営所見は。

**町長** 国による「地方分権一括法」の施行や、「三位一体改革」の施行で、町長就任前から厳しい財政運営が続いた。当時は、公共事業の抑制や職員削減・給与カットなどの行財政改革に取り組み、市町村合併はせずに自立した町づくりを進めてきた。



完成間近の高齢者福祉センター

令和3年度決算は、平成20年度に比べ37億円ほど増え、行財政改革の良い影響が子育て支援・葛巻高校支援・移住定住対策・新庁舎建設などの公共施設整備等に結びついていると認識している。

**議員** 普通交付税の動向と見通しは。

**町長** 令和2年度以降、相対的に普通交付税は増加しており令和6年度までは、同水準での配分が見込まれる。今後は、町公債費が増加することか

ら、当面は交付税が増加すると考えられる。

**議員** 地方債残高は、どのように償還されるのか。

**副町長** 96億円以上の地方債元利償還金の3分の2は、今後普通交付税で措置される見込みであり、町の実質的負担は34億円程度になると思われる。

**議員** 今後の行財政改革の取組み方策は。

**町長** 引き続き「行政コストの圧縮」「費用対効果」を継続し、行財政運営に取り組み。現在安定的な行財政運営ができていくが、変化する社会情勢や世界経済の今後の動向を注視し、柔軟かつ適切な確に組み組める体制を整えて参りたい。

**葛巻町内の聴覚障がい者等への支援について**

**議員** 聴覚障がい者に対する町の支援の現状と今後の課題は。

**町長** 「障害者総合支援法」や「児童福祉法」の基準による補聴器の購入、修理の助成や聴覚障がい軽減のための必要な手術費用の一部助成のほか、各種支援器具・手話通訳派遣費用の給付などが整備されている。

今後は、「情報を得るため、自分の考えを伝えるための手段の確保」という対象者のニーズを踏まえ、関係機関と連携を図りながら、課題解決に向けた取組みを進めたい。

**議員** 聴覚軽度の難聴者に対する補聴器購入への町単独補助制度を創設しただらうか。

**町長** 県事業として「補聴器購入助成制度」が創設されている。県内3市町村で単独事業として整備されており、今後の動向を注視し総合的な対応・検討について協議していきたい。

### 輝くふるさと常任委員会 大雨被害調査

輝くふるさと常任委員会（鈴木満委員長）は、9月7日、8月2日から3日にかけて降った記録的大雨による被害箇所を視察しました。

#### 8カ所を調査

県道、町道を中心に大沢、城内小路、垂柳地区2カ所、小田地区2カ所、毛頭沢、根地戸を現地調査しました。

現地調査には、岩手土木センターと町の建設水道課が同行し、当時の被害状況や当日の対応、今後の対策等を説明していただきました。

#### 災害時の議会の在り方は

9月定例会議後に大雨被害調査のとりまとめを行いました。

各議員から、実際に現地を見た感想や意見、要望などが出されました。

災害時の議会の在り方を確認し、とりまとめを終了しました。

#### 議会を傍聴して

本町に関心のある大学生等を対象として実施している「葛巻型インターンシップ」に参加した大学生や短大生5名は、9月2日に再開された9月定例会議を傍聴しました。学生らは、真剣な眼差しで会議を傍聴しており、「会場内の張りつめた空気を体験できた」「真剣に町の施策などを議論しており、熱意が伝わった」「議会や議員の責任の重さを痛感した」「テレビではなく、生の議会を傍聴してほしい」などと感想を語っていました。



議会を傍聴する大学生ら



大きく崩れた町道根地戸線



道路の一部が崩落した町道大沢線

## 町内各所で大きな被害

町の中心部であり住宅地でもある城内小路では、これまでも降雨時には頻りに浸水被害が発生している地域でしたが、濁水だけでなく土砂も流出し、国道281号線にまで被害が及びました。

岩手土木センターでは、



# くずまきの笑顔

## くずまき秋まつりの練習をする山車茶屋場組の皆さん



茶屋場組の皆さんは、秋まつりに踊りを披露するため、9月は毎日、茶屋場自治会館で練習に励みました。

久しぶりの踊りの練習に、はじめは恥ずかしがっていた子ども達。回を重ねるごとに張り切って踊りを覚え、3年ぶりに開催された「くずまき秋まつり」を盛り上げてくれました。

## 「くずまき議会だより」に対するご意見・感想をお待ちしております

### 情報公開

議長が議会の対外的活動をするための経費が議長交際費です。各団体の総会、式典の会費が主なものです。

7月	31,250円	(高砂荘南棟開所式ほか)
8月	48,000円	(盛岡広域市町議長会懇談会ほか)
9月	13,000円	(地区議長会議長・局長会議ほか)

次の定例会議は12月2日(金)です。

「くずまき議会だより」は、ユニバーサルカラーとユニバーサルフォントに対応しており、より多くの方に視認しやすく、判読しやすいように配慮して制作しております。一部当たり約72円で作成されています。  
印刷：(株)白ゆり 〒020-0122 岩手県盛岡市みたけ6-1-50

3年も続くコロナ禍の中。少しずつではありますが、以前の日常を取り戻しつつあると感じられるようになりました。8月には、商工会青年部による花火の打ち上げなどの催しがあり、3年ぶりの「くずまき秋まつり」も再開されました。生活の中の楽しみや潤いも感じられ、これから秋に向かって多くのイベントが予定されております。町中に活気とたくさんの実りがあることを祈りたいと思います。

広報常任委員会  
副委員長 遠藤 裕樹

森林認証した紙を使用しております。

